教育行財政

１　教育委員会・教育委員・教育長・・・・・・・・・　1
２　教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
３　総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
４　組織機構・分掌事務・・・・・・・・・・・・・・・　4
５　職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
６　教育委員会表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
７　広報・広聴活動・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
８　教育振興基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・　9
９　令和５年度教育予算・・・・・・・・・・・・・・・　11

教　育　行　財　政

1　教育委員会・教育委員・教育長

福岡市教育委員会は、昭和 23 年に制定された「教育委員会法」に基づき、公選委員４人及び議会選出委員１人の計５人をもって昭和 27 年 11 月１日に発足しました。その後、昭和 31 年 10 月１日から施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（地教行法）により、市長が議会の同意を得て任命する委員５人で構成されることになりました。

教育長は、昭和 47 年４月１日の福岡市の指定都市移行以後、教育委員（委員長を含む。）以外の者から文部大臣の承認を得て教育委員会が任命していましたが、平成 11 年の地教行法改正により、文部大臣による任命承認制度が廃止され、教育委員（委員長を除く。）である者のうちから教育委員会が任命することになりました。

また、教育委員の定数は、平成 11 年の同法改正に基づき平成 12 年に制定された「福岡市教育委員会定数条例」により、６人とされました。

地方教育行政における責任体制の明確化等を目的に、平成 26 年に地教行法が改正され、平成 27 年４月に、教育委員会と市長が協議・調整を行う「総合教育会議」が設置されました。

また、平成 26 年の同法の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新たな教育長を、教育委員とは別に、教育行政に関し識見を有する者の内から、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命すると位置付けられました。

（令和５年４月１日現在）

職　　名	氏　　名	年齢	委員(教育長)としての任期	当初委員（教育長）就任年月日
教　育　長	石　橋　正　信	62	R 4. 4. 1～R 7. 3.31	R 4. 4. 1
委　　員	町　　孝	72	R 3. 4. 2～R 7. 4. 1 H29. 4. 2～R 3. 4. 1 H25. 4. 2～H29. 4. 1	H25. 4. 2
委　　員	原　　志津子	51	R 4. 7. 7～R 8. 7. 6 H30. 7. 7～R 4. 7. 6	H30. 7. 7
委　　員	武　部　愛　子	63	R 5. 4. 1～R 9. 3.31 H31. 4. 1～R 5. 3.31	H31. 4. 1
委　　員	西　村　早　苗	58	R 2. 7. 4～R 6. 7. 3	R 2. 7. 4
委　　員	徳　成　晃　隆	66	R 2.12.28～R 6.12.27	R 2.12.28

教育長

石　橋　正　信

委　員

町　　孝

委　員
（保護者）

原　　志津子

委　員

武　部　愛　子

委　員
（保護者）

西　村　早　苗

委　員

徳　成　晃　隆

◎　歴代教育委員・教育委員長・教育長

教育委員

氏　　名	期　　間
松　浦　成　見	S27.11. 1～S31. 9.30
篠　原　金　門	S27.11. 1～S31. 9.30
板　橋　ユキエ	S27.11. 1～S30.10.18
石　井　俊　光	S27.11. 1～S31. 9.30
藤　村　寛　太	S27.11. 1～S30. 5. 1
松　井　倫　助	S30. 5.27～S31. 9.30
山　田　　穣	S31.10. 1～S31.10.31
徳　永　ヨ　シ	S31.10. 1～S32. 9. 2
平　野　貞　一	S31.10. 1～S35. 9.30
深　見　平次郎	S31.10. 1～S34. 9.30 S34.11. 1～S38.10.31 S38.12.14～S39.11.10
操　　坦　道	S31.11. 3～S32. 9.30 S32.10. 1～S36. 9.30
妹　尾　ハツミ	S33. 3.28～S33. 9.30 S33.10. 1～S37. 6.18
貝　島　義　之	S35.10. 1～S39. 9.30
石　橋　忠　次	S36.11.17～S40.11.16
安　蔵　　孝	S37.12.19～S41.12.18 S41.12.20～S45.12.19
吉　武　不二男	S39.11.14～S42.12.13
池　見　茂　隆	S39.11.14～S43.11.13
石　井　哲　夫	S40.12.16～S44.12.15
真　鍋　秀　海	S42.12.18～S46.12.17
増　田　友　治	S44. 1.18～S48. 1.17
浅　田　　猛	S44.12.19～S48.12.18
秦　　純　乗	S47. 3.28～S51. 3.27
相　島　一　之	S47.12.25～S50. 3.31
福　澤　秀　利	S50. 6.23～S51.12.24 S51.12.25～S55.12.24
池　見　哲太郎	S48. 4. 2～S52. 4. 1 S52. 4. 2～S56. 4. 1
安　部　キ　ヌ	S46. 4. 1～S50. 3.31 S50. 4. 1～S54. 3.31 S54. 4. 1～S56. 3.31
近　江　福　雄	S51. 3.30～S55. 3.29 S55. 3.30～S59. 3.29
結　城　一　義	S55.12.27～S59.12.26
白　木　勘　治	S49. 6.27～S53. 6.26 S53. 7. 7～S57. 7. 6 S57. 7. 7～S61. 7. 6
笹　渕　　勇	S56. 4. 2～S60. 4. 1 S60. 4. 2～S63. 7.31
矢　野　甲子男	S59.12.28～S63.12.27
池　田　數　好	S61. 7. 7～S 2. 7. 6

氏　　名	期　　間
平　田　　昌	S56. 4. 1～S58. 3.31 S58. 4. 1～S62. 3.31 S62. 4. 1～H 3. 3.31 H 3. 4. 1～H 4. 3.31
安　田　　弘	S59. 7 .4～S63. 7. 3 S63. 7. 4～H 4. 7. 3
藤　原　豊　治	S63.12.28～H 4.12.27
西　津　茂　美	H 4.12.28～H 8.12.27
前　田　研　一	S63. 9.14～H元. 4. 1 H元. 4. 2～H 5. 4. 1 H 5. 4. 2～H 9. 4. 1
小　屋　修　一	H 2. 7. 7～H 6. 7. 6 H 6. 7. 7～H10. 7. 6
武　野　要　子	H 4. 4. 1～H 7. 3.31 H 7. 4. 1～H11. 3.31
篠　原　　忍	H11. 4. 1～H15 .3.31
西　山　陽　雄	H 4. 7. 4～H 8. 7. 3 H 8. 7. 4～H12. 7. 3 H12. 7. 4～H16. 7. 3
池　浦　貞　彦	H 8.12.28～H12.12.27 H12.12.28～H16.12.27
石　村　善　悟	H 9. 4. 2～H13. 4. 1 H13. 4. 2～H17. 4. 1
陣　川　桂　三	H16.12.28～H20.12.27
飯　野　毅　紀	H10. 7. 7～H14. 7. 6 H14. 7. 7～H18. 7. 6 H18. 7. 7～H22. 7. 6
貝　田　由　紀	H15. 4. 1～H19. 3.31 H19. 4. 1～H23. 3.31
大　田　夏　美	H20. 7. 4～H24. 7. 3
森　　重　隆	H17. 4. 2～H21. 4. 1 H21. 4. 2～H25. 4. 1
八尾坂　　修	H20.12.28～H24.12.27 H24.12.28～H28. 6.30
松　原　妙　子	H16. 7. 4～H20. 7. 3 H22. 7. 7～H26. 7. 6 H26. 7. 7～H30. 7. 6
阿　部　晶　子	H23. 4. 1～H27. 3.31 H27. 4. 1～H31. 3.31
木　本　香　苗	H24. 7. 4～H28. 7. 3 H28. 7. 4～R 2. 7. 3
菊　池　裕　次	H28. 7. 1～H28.12.27 H28.12.28～R 2.12.27

教育委員長

氏　　名	期　　間
松　浦　成　見	S27.11.　1～S31.　9.30
平　野　貞　一	S31.10.　1～S35.　9.30
深　見　平次郎	S35.10.　5～S39.11.10
石　橋　忠　次	S39.11.14～S40.11.13
吉　武　不二男	S40.12.20～S41.12.19
石　井　哲　夫	S41.12.20～S44.12.15
真　鍋　秀　海	S44.12.25～S46.12.17
秦　　純　乗	S47.　4.11～S51.　3.27
福　澤　秀　利	S51.　3.29～S55.12.24
池　見　哲太郎	S56.　1.　7～S56.　4.　1
白　木　勘　治	S56.　4.　3～S57.　7.　6
近　江　福　雄	S57.　7.　7～S59.　3.29
白　木　勘　治	S59.　5.　7～S61.　7.　6
池　田　數　好	S61.　7.　7～H 2.　7.　6
平　田　　昌	H 2.　7.　7～H 4.　3.31
小　屋　修　一	H 4.　4.　1～H10.　7 .6
西　山　陽　雄	H10.　7.　7～H16.　7.　3
飯　野　毅　紀	H16.　7.12～H22.　7.　6
貝　田　由　紀	H22.　7.14～H23.　3.31
八尾坂　　修	H23.　4.11～H28.　3.31

教育長

氏　　名	期　　間
石　井　哲　夫	S27.11.　1～S30.12.　9
秦　　純　乗	S30.12.10～S36.　7.　1
原　　犬　若	S36.　8.　1～S39.　9.30
吉　村　一　夫	S39.11.14～S41.　2.25
長　束　正　之	S41.　4.　1～S44.　6.　1
豊　島　延　治	S44.　6.　2～S47.　4.30
正　木　利　輔	S47.　5.　1～S49.　6.30
古　村　澄　一	S49.　7.　1～S51.11.30
戸　田　成　一	S51.12.　1～S54.　6.30
西　津　茂　美	S54.　7.　1～S60.　3.31
佐　藤　善　郎	S60.　4.　1～H 2.　3.31
井　口　雄　哉	H 2.　4.　1～H 5.　3.31
尾　花　　剛	H 5.　4.　1～H 8.　3.31
町　田　英　俊	H 8.　4.　1～H11.　3.31
西　　憲一郎	H11.　4.　1～H12.　9.30
生　田　征　生	H12.10.　1～H16.　9.30
植　木　とみ子	H16.10.　1～H19.　3.31
山　田　裕　嗣	H19.　4.　1～H23.　3.31
酒　井　龍　彦	H23.　4.　1～H28.　3.31
星　子　明　夫	H28.　4.　1～R 4.　3.31

2　教育委員会会議

会議回数等

区　　分	R2 年度	R3 年度	R4 年度
回　　数	26	20	22
付　議　案	86	65	79
臨時代理 報告事項	11	5	11
協議・報告 事　　項	28	30	41

3　総合教育会議

会議回数等

区　　分	R2 年度	R3 年度	R4 年度
回　　数	1	1	1
開 催 日	3 月 18 日	11 月 30 日	10 月 11 日

4 組織機構・分掌事務

（令和５年５月１日現在）

- 教育長
  - 教育次長
    - 理事
    - 総務部
      - 総務課
        - 総務係：教育委員会の会議、文書、公印、法制、秘書、表彰、請願、陳情、議会、報道
        - 財務係：予算、決算
        - 学校経理係：学校予算の管理、教材教具等の取得・整備
        - （主査）：学校（高等学校を除く。）の会計事務に係る共同学校事務室との連絡調整
      - 教育政策課
        - 教育政策係長：総合企画、重要施策の企画・調整、調査、統計、広報、広聴
        - 教育政策係長：総合企画、重要施策の企画・調整、調査、統計、広報、広聴
        - 教育政策係長：総合企画、重要施策の企画・調整、調査、統計、広報、広聴
      - 放課後こども育成課
        - 遊び場づくり係：放課後等の遊び場づくり事業（わいわい広場、昼間校庭開放事業）
        - 放課後児童育成係：放課後児童クラブ事業
        - 指導係：放課後児童クラブ支援員の研修・労務管理等
        - （主査）：放課後児童クラブの運営支援、施設管理等
      - 人権・同和教育課
        - 企画推進係：人権教育の総合的な企画・調整、地域改善対策奨学金の返還
        - ＰＴＡ・家庭教育支援係：ＰＴＡの活動支援、家庭教育の支援
        - （主任社会教育主事）：社会教育における人権教育の指導助言
      - 生涯学習課
        - 生涯学習係：市民センター及び公民館等との連絡に関すること
        - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
      - 東市民センター ―― （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
      - 博多市民センター ―― （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
      - 中央市民センター ―― （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
      - 南市民センター ―― （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
      - 城南市民センター ―― （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
      - 早良市民センター ―― （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
      - 西市民センター ―― （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
      - 埋蔵文化財センター
    - 職員部
      - 職員課
        - 人事係：職員（教職員を除く。）の人事・研修、組織、事務分掌
        - 安全衛生係：安全衛生、公務災害補償、職員の福利厚生
      - 服務指導課
        - 服務指導係：職員の分限、服務、賞罰、公務員倫理
        - 服務指導係：職員の分限、服務、賞罰、公務員倫理
      - 労務・給与課
        - 労務係：職員の給与・勤務条件の基準
        - 給与係：給与の決定及び支給
        - （主査）：学校の働き方改革の推進等
      - 教職員第１課
        - 教職員第１係：学級編制、教職員の定数管理、臨時教職員の任免
        - 教職員第２係：教員採用試験の実施、教職員の任免
        - 教職員第３係：教員採用試験（特別選考）の実施、教育実習
      - 教職員第２課 ―― （主任人事主事）：教職員の人事異動
    - 教育環境部（部長（学校施設アセットマネジメント担当））
      - 教育環境課
        - 管理係：部の統括、部の庶務、契約・支払、教育施設等の取得・処分・管理、校舎・校庭の使用許可に関すること
        - 資金計画係：学校施設の整備に係る予算・決算・国庫補助・起債に関すること
      - 施設課
        - 計画係：学校施設及びその他教育施設等の整備計画に関すること
        - 整備第１係：教育施設等の整備・維持補修等（建築）、教育施設等用地の取得に係る物件の移転、補償費の算定
        - 整備第２係：教育施設等の整備・維持補修等（建築）、教育施設等用地の取得に係る物件の移転、補償費の算定
        - 設備係：教育施設等の整備・維持補修等（設備）
        - （主査）：学校施設に係る土木構造物の整備・改良の推進
      - 用地・建替計画課
        - 建替計画第１係：教育施設等の建替計画等
        - 建替計画第２係：教育施設等の建替計画等
        - 用地管理係：教育施設等用地の管理
        - 用地計画係：教育施設等用地の取得・処分、教育施設等跡地の活用計画
      - 通学区域課
        - 通学区域第１係：学校の設置・廃止、学校の適正配置計画、通学区域の設定・変更
        - 通学区域第２係：学校の設置・廃止、学校の適正配置計画、通学区域の設定・変更
    - 教育支援部
      - 教育支援課
        - 教育支援係：教育支援部・指導部の統括、庶務、教科書無償給与、学校問題解決支援、高校生奨学金事業の調整
        - 学事係：就学事務、就学指導、就学援助、私学助成（幼稚園を除く。）、就学支援金
        - 学務支援係：指導部の予算・決算の統括、学校体育設備等の整備
      - 課長（高校総体担当）
        - （主査）：全国高校総体の福岡市実行委員会、事業計画に関すること
        - （主査）：全国高校総体の競技種目別大会開催準備
      - 健康教育課
        - 保健係：児童生徒の保健、学校環境の衛生管理、児童生徒等の医療援助、保健器具・医薬品等の整備、児童生徒等の災害共済給付
        - 収納係：学校給食費の収納及び滞納整理
      - 課長（学校等感染症対策担当） ―― （主査）：学校等の感染症対策
      - 給食運営課
        - 運営第１係：小学校給食の運営、小学校給食の民間委託、給食設備等の整備、学校給食衛生管理
        - 運営第２係：中学校・特別支援学校給食の運営、学校給食公社との連絡
        - 栄養係：学校給食の栄養指導、献立作成
        - （主任指導主事）：学校給食指導・食育推進に関する研修及び連絡調整等
      - 学校給食センター
        - 副所長：学校給食センターの運営・管理、中学校・特別支援学校給食の献立作成・栄養指導
        - 第１給食センター長：第１給食センターの運営・管理、中学校・特別支援学校給食の献立作成・栄養指導
        - 第２給食センター長：第２給食センターの運営・管理、中学校・特別支援学校給食の献立作成・栄養指導
        - 第３給食センター長：第３給食センターの運営・管理、中学校・特別支援学校給食の献立作成・栄養指導

- 指導部（部長（高校教育等担当））
  - 学校企画課
    - 学校企画係：学校教育に係る企画及び調整の統括
    - （主任指導主事）：学校教育に係る指導助言等
    - （主査）：保育所、幼稚園、小学校、中学校の連携の推進等
  - 小学校教育課
    - 小学校教育第１係：小学校教育に係る計画及び指導助言の統括
    - 小学校教育第２係：小学校の各教科等に関する指導助言の統括、教科用図書の採択、生徒指導
    - （主査）：新設小学校の開校準備等
    - （主任指導主事）：小学校教育に係る指導助言等
  - 中学校教育課
    - 中学校教育第１係：中学校教育に係る計画及び指導助言の統括
    - 中学校教育第２係：中学校の各教科等に関する指導助言の統括、教科用図書の採択、生徒指導
    - （主任指導主事）：中学校教育に係る指導助言等
  - 高校教育課
    - 高校教育係：高校教育に係る計画及び指導助言の統括
    - （主任指導主事）：高校教育に係る指導助言等
  - 安全・安心推進課
    - 学校対応支援係：事案対応に関する指導助言の統括
    - （主任指導主事）：事案対応に関する指導助言
    - （主査）：児童生徒の安全教育・事故防止に関する指導助言
    - 課長（学校法務担当）：学校事故・事案に関する法的観点からの助言指導、相談対応
  - 教育ICT推進課
    - 環境整備係：学校教育におけるＩＣＴの環境整備・活用
    - 活用推進係：ＩＣＴ教育の活用推進
    - （主任指導主事）：ＩＣＴ教育の活用推進
    - （主査）：教育データの活用
    - （主査）：教育データの活用に向けた連携基盤の構築
  - 教育相談課
    - 推進係：課の予算・決算、庶務、経理
    - 相談係：教育相談に関する統括、適応指導教室運営
    - （主任指導主事）：スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、不登校対策に関する指導助言
    - （主査）：登校支援施策の推進
  - 課長（特別支援学校開校準備等担当）
    - （主査）：特別支援学校高等部の開校準備、特別支援学級の設置方針策定等
  - 発達教育センター
    - 計画管理係：施設の管理運営、連絡調整、特別支援教育の推進
    - 指導係：特別支援学校の教育課程等と指導・助言
    - 相談・支援係：就学相談、教育相談
    - （主任指導主事）：特別支援学校の指導・助言
- 教育センター
  - 人材育成課
    - 管理調整係：センターの庶務、連絡調整、施設の管理
    - 研修企画係：研修講座の企画・実施の統括
    - （主任指導主事）：研修講座の企画・実施
    - 研究支援係：研究推進の支援、研修員等による調査研究の統括
    - （主任指導主事）：研究推進の支援、研修員等による調査研究
- 総合図書館
  - 運営課
    - 運営係：図書館の庶務、経理、連絡調整、総合図書館の指定管理
    - 企画係：図書館行政の総合企画、広報、図書館情報システムの運営・管理
  - 図書サービス課
    - 管理調整係：図書館事業の推進、分館との連絡調整、東図書館及び早良南図書館の指定管理
    - 読書活動支援係：読書活動支援、団体貸出・こども図書館・学校図書館支援センターの運営
    - 図書資料係：図書資料の収集・整理・閲覧・貸出・保存、図書資料の調査・相談、九州国連寄託図書館の運営
  - 文学・映像課
    - 文書資料係：公文書・行政資料の収集・整理・保存、閲覧、調査研究
    - 古文書係：古文書資料・郷土資料の収集・整理・保存、閲覧、調査研究
    - 映像係：映像ホールの企画、映像資料の収集・調査研究、渉外、映画の貸与、館外上映
    - 文化資料活用係：映像ホール及びミニシアターの管理運営、映像資料等及び文学資料の収集・整理・保存・活用、文学館運営
- 美術館
  - 学芸課長
- アジア美術館
  - 学芸課長
- 博物館
  - 学芸課長
- 市立学校：小学校１４６校　中学校７０校　特別支援学校９校　高等学校４校　共同学校事務室３室

５　職員数

（令和５年５月１日現在）

区分			教育長	教育次長	理事	部長級	課長級	係長	主査	主任主事指導	主任主事人事	教育主任主事社会	主任主事学芸	係員	合計
合計			1	1	1	9	29	69	12	29	8	1		140	300
教育長			1												1
事務局	教育次長			1											1
	理事				1										1
	総務部	部長				1									1
		総務課					1	3	1					9	14
		教育政策課					1	3						3	7
		放課後こども育成課					1	3	1					5	10
		人権・同和教育課					1	2				1		2	6
	職員部	部長				1									1
		職員課					1	2						7	10
		服務指導課					1	2						3	6
		労務・給与課					1	2	1					9	13
		教職員第１課					1	3						9	13
		教職員第２課					1				8				9
	教育環境部	部長				1									1
		部長（学校施設アセットマネジメント担当）				1									1
		教育環境課					1	2						8	11
		施設課					1	4	1					18	24
		用地・建替計画課					1	4						5	10
		通学区域課					1	2						3	6
	教育支援部	部長				1									1
		教育支援課					1	3						10	14
		課長（高校総体担当）							2					2	4
		健康教育課					1	2						7	10
		課長（学校等感染症対策担当）													
		給食運営課					1	3		1				5	10
	指導部	部長				1									1
		部長（高校教育等担当）				1									1
		学校企画課					1	1		3					5
		小学校教育課					1	2	1	6					10
		中学校教育課					1	2		4					7
		高校教育課					1	1		2					4
		安全・安心推進課					1	1	1	1					4
		課長（学校法務担当）													
		教育ICT推進課					1	2	2	1				4	10
		教育相談課					1	2	1	2				5	11
		課長（特別支援学校開校準備等担当）					1		1						2
	計			1	1	7	24	51	12	20	8	1		114	239
教育機関	学校給食センター							3							3
	東市民センター														
	博多市民センター														
	中央市民センター														
	南市民センター														
	城南市民センター														
	早良市民センター														
	西市民センター														
	発達教育センター						1	3		2				6	12
	埋蔵文化財センター														
	教育センター					1	1	3		7				2	14
	総合図書館					1	3	9						18	31
	美術館														
	アジア美術館														
	博物館														
	計					2	5	18		9				26	60

６　教育委員会表彰

福岡市では、昭和 33 年度から教育委員会表彰規則に基づき、福岡市教育の振興発展に貢献し、顕著な功績をあげた教育機関、個人及び団体等を例年 11 月３日（文化の日）に表彰しています。

年度別被表彰者数

区分＼年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
学　　校	11	11	14	11	11
公　民　館	1	2	0	0	0
教育関係職員	21	18	23	21	19
児童生徒等	61	86	33	54	76
個人・団体	6	2	6	3	3

令和４年度に表彰した団体及び個人等（文中敬称略、順不同）

(1) 学校その他の教育機関の部

弥永小学校、舞松原小学校、弥永西小学校、鶴田小学校、堤丘小学校、西都小学校、能古小中学校、高取中学校、田隈中学校、柏原中学校、生の松原特別支援学校

(2) 教育関係職員の部

主幹教諭　安河内　由美、教諭　楢﨑　めぐみ、講師　後藤　良子、指導教諭　新海　由美、栄養教諭　永島　牧子、指導教諭　久連松　大輔、教諭　糸長　雅俊、教諭　小寺　聡、スクールカウンセラー　山村　容子、主幹教諭　森　達雄、主幹教諭　松岡　恭平、主幹教諭　仲間　梢、教育カウンセラー　木下　真子、学校医　小田邊　修一、学校医　池田　研、学校医　野下　純世、学校歯科医　藤田　次郎、学校歯科医　鎮守　信弘、学校薬剤師　楠本　哲也

(3) 幼児・児童・生徒の部

緑　志季（警固小学校２年　空手　組手　小学２年生女子重量級準優勝）、緑　晴（警固小学校３年　空手　組手　小学３年生男子重量級準優勝）、児玉　好志郎（警固小学校５年　空手　型　小学５年生男子準優勝）、渡部　マキ（堅粕小学校３年　空手　組手　小学２年生女子重量級第３位）、緑　絢音（東住吉小学校６年　空手　組手　小学６年生女子重量級準優勝）、久田　拓輝（高宮小学校４年　空手　組手　小学４年生男子軽量級第３位）、松原　姫（能古小学校６年　ウエイトリフティング　女子の部第２位）、中村　美月（鳥飼小学校３年　読売学生書展文部科学大臣賞）、相澤　朔太（内浜小学校５年　テニス準優勝）、髙橋　義春（周船寺小学校４年　空手　組手　小学４年生男子の部準優勝）、古賀　恭一郎（千早小学校３年　ピアノ　小学生部門審査員特別賞）、宮田　龍成（千早小学校４年　空手　組手　小学３年生男子軽量級優勝）、宮田　翔矢（千早小学校６年　空手　組手　型第３位）、三浦　大晟（西花畑小学校３年　空手　組手　小学３年生男子軽量級優勝）、香川　さくら子（飯倉小学校６年　卓球　女子 U13 シングルス準優勝）、大川　幹太（若宮小学校５年　剣道　小学５年生個人の部第３位）、松原　倖玖（東月隈小学校６年　バトン　トゥーバトンソロトワール　第１位）、早田　海音（舞松原小学校６年　空手　個人戦小学６年生男子形の部準優勝）、山根　王輝（香椎東小学校４年　空手　個人戦小学４年生男子形の部第３位）、大山　塁児（大池小学校６年　レスリング小学生の部６年生 46 kg級準優勝）、野口　凱吏（玄洋小学校２年　水泳　50m平泳ぎ　100m平泳ぎ　ランキング１位）、東房　葵（小田部小学校１年　空手　１年女子組手優勝）、東房　陽向（小田部小学校５年　空手　５年男子組手第３位）、小林　樹生（照葉小学校３年　空手　組手　小学３年生男子軽量級優勝）、北野　莉椛（西都小学校５年　空手　小学５年生女子形の部第３位）、有馬　禅（照葉北小学校２年　空手　組手　小学１年生男子軽量級準優勝）、財部　遥　財部　凛（若久小学校５年　野間中学校１年　ピアノ　ピアノ部門連弾Ａ（PP）第２位）、奥野　真羽音（東光中学校２年　模範的行動）、大町　晋太郎（舞鶴中学校１年　ゴルフ　第３位）、梶原　法香（警固中学校２年　少林寺拳法　女子単独演武の部優勝）、辻七海（百道中学校３年　空手　中学３年生女子の部優勝）、石丸　大智（西福岡中学校３年　男子砲丸投　第１位）、松原　敬（能古中学校３年　ウエイトリフティング　49 kg級第２位）、新川　翔太（香椎第１中学校１年　空手　個人戦中学１年生男子形の部第３位）、本田　林路（花畑中学校１年　模範的行動）、藤本　一希（花畑中学校２年　模範的行動）、松尾　瑚子（友泉中学校３年　バトン　トゥーバトン第２位　ソロトワール第３位）、下釜　大地（友泉中学校３年　少林寺拳法　男子単独演武の部第４位）、角　優輝（筑紫丘中学校１年　囲碁　中学生の部準優勝）、髙橋　総光（曰佐中学校３年　テコンドー　ジュニア男子 45 kg級第２位）、栗原　琉衣（早良中学校１年　空手　組手　中学生女子１年優勝）、和泉　孔大（長丘中学校３年　空手　２年生男子個人組手準優勝）、宮﨑　琉夏（田隈中学校１年　水泳　女子 50m平泳ぎ第３位）、入江　俐心（和白丘中学校１年　レスリング　女子の部 36 kg級第３位）、毛利　隆愛（箱崎清松中学校１年　空手　個人戦小学６年生男子組手の部第３位）、中村　凌太郎（博多工業高等学校３年　高校生ものデザインコンテストクラフト部門　優良賞）、小野　恵望（博多工業高等学校３年　Ene-1 Challenge 鈴鹿大会モータースポーツ部門第２位）、富久　慎之佑（博多工業高等学校卒業生　切削加工ドリームコンテストアカデミック部門銅賞）、養父　真希斗（博多工業高等学校卒業生　デザインパテントコンテスト　新しい生活様式デザイン賞）、川田　千鶴　真名子　涼介（博多工業高等学校卒業生　AEON eco-１グランプリ研究・専門部門　環境大臣賞）、小川　歩乃花（福岡女子高等学校３年　空手　組手　高校女子 53 kg以上の部第３位）、松永　烈（福岡大学附属大濠高等学校３年　柔道　男子 60 kg級優勝）、中山　聖也（東福岡高等学校１年　ボクシング　ピン級優勝）、渕上　翔太（東福岡高等学校２年　陸上　男子 300m ハードル　男子 400m ハードル第３位）、葭原　逢太（東福岡高等学校２年　男子バレーボール優勝）、竹原　秀一（東福岡高等学校３年　水泳　200m 背泳ぎ優勝）、山下　心一（東福岡高等学校３年

ボクシング　ピン級準優勝)、冨永　湧平（東福岡高等学校３年　陸上　男子 400m優勝)、叶　結衣（沖学園中学校３年　ゴルフ　女子個人の部第３位)、西原　聡亮（沖学園中学校３年　柔道　男子個人 66 kg級第３位)、林田直也（沖学園高等学校３年　ゴルフ　男子個人の部優勝)、三宅イーグルス（全日本小学生男子ソフトボール大会第３位)、ＨＣ春吉Ｊｒ．（全国小学生ハンドボール大会女子の部第３位)、飯倉シャイニングキッズ（全国小学生ドッジボール選手権全国大会第３位)、奈多クラブ（全日本小学生男子ソフトボール大会第３位)、西陵中学校ダンスチーム（全国決勝大会審査員特別賞)、中村学園女子高等学校剣道部（全国大会優勝)、筑紫女学園高等学校文芸部（全国コンクール文芸部誌部門　最優秀賞　文部科学大臣賞)、精華女子高等学校吹奏楽部（全国コンクール金賞)、福岡大学附属大濠高等学校男子バスケットボール部（全国大会優勝)、東福岡高等学校ラグビーフットボール部（全国大会準優勝)、東福岡高等学校剣道部（全国大会第３位)、東福岡高等学校陸上競技部（全国大会男子 4×400m リレー優勝)、東福岡高等学校バレーボール部（全国大会準優勝)

(4) 個人及び団体の部

福岡市立横手小学校ＰＴＡ、福岡市立福岡中央特別支援学校ＰＴＡ、小笹公民館　おざさ文庫

7　広報・広聴活動

教育行政の情報について、市民に発信し、理解と信頼を得るため、各種の広報活動を行っています。

「福岡市教育委員会ホームページ」では、教育委員会の組織・方針、市立学校一覧や通学区域などの学校情報、広報・統計、問い合わせの多い各種手続きなどについて、広く市民等に対して情報提供するとともに、休校などの緊急情報の提供を行っています。

また、市長部局が実施する広報活動あるいは広聴活動についても、積極的にその活用を図り、広報・広聴活動の充実に努めています。

(1) 広報誌の発行

広報誌	掲載内容	発行部数等	発行月
教　育 要　覧	・前年度の事務事業実績 ・当該年度の事務事業あらまし	年１回 ＨＰ掲載 昭和30年創刊	令和４年 10月
教　育 統　計 年　報	・学校基本統計の数値等	年１回 ＨＰ掲載 昭和39年創刊	令和４年 11月

(2) 記者発表等

重要施策や事業について広く市民の理解と信頼を得るため、市政記者に対し必要に応じて記者発表や、また、主要行事・ニュース等についても、随時市政記者クラブに資料提供を行っています。

○ 記者発表件数（令和４年度）

・記者発表（レク）　２件　・資料提供　47 件

(3) 広聴活動

市民から寄せられた市政についての意見・要望等のうち教育委員会所管事業に関する受付件数

※　市政への提案は、メール及びはがき・封書の合計

区　　分	令和 ２年度	令和 ３年度	令和 ４年度
市政への提案	757	554	500
新聞に見る市民の声	8	12	15
市長受け団体要望	5	8	12
合　　計	770	574	527

8　教育振興基本計画

－第２次福岡市教育振興基本計画－

○策定
　令和元年６月
○期間
　令和元年度から概ね６年間
○ホームページアドレス
　http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/k-seisaku/child/newplan-keii.html

平成 21 年に策定した福岡市の教育振興基本計画「新しいふくおかの教育計画」が、平成 30 年度をもって計画期間を終了することから、「第２次福岡市教育振興基本計画」を策定しました。

本計画は、市立学校（小学校・中学校・特別支援学校・高等学校）における取組みを中心とし、子どもたちをともにはぐくむ家庭・地域等の取組みも含めた、教育に関わる分野を範囲としています。

本計画の実現のために、学校、教育委員会はもとより、家庭、地域・企業等が、それぞれの役割を果たし、互いに連携しながら、社会全体で未来の福岡市を支え、創造する子どもたちをともにはぐくんでいきます。

(1)　めざす子ども像（教育の目標）

「やさしさとたくましさをもち　ともに学び未来を創り出す子ども」を新たなめざす子ども像として掲げ、変化の激しい社会の中においても子どもたちの他者を思いやるやさしさや、たくましく生きる力を持ち、多様性を認め、様々な人とともに学び、感性を豊かに働かせながら、よりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくことができる力をはぐくんでいきます。

そのために、教育の主体（担い手）である学校、家庭、地域・企業等のそれぞれの果たす役割を明確にするとともに、各主体がともに教育に取り組み社会全体で子どもをはぐくむ「共育」を引き続き推進します。

(2)　福岡スタンダード

福岡スタンダード～福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと～

生活習慣の柱	学びの柱	未来への柱
あいさつ・掃除	自学・とも学	チャレンジ・立志

前計画で取り組んできた福岡スタンダードに新たに「とも学」と「チャレンジ」のキーワードを加え、福岡の子どもたちに大切にしてほしいこととして、**生活習慣の柱「あいさつ・掃除」、学びの柱「自学・とも学」、未来への柱「チャレンジ・立志」**を示しています。

各学校においては、福岡スタンダードで示した３つの柱について、教育の適時性と順次性を踏まえ、子どもの発達段階に応じて、重きを置く柱や取組みを変化させ、子どもたちをはぐくんでいきます。

(3)　各主体の姿や役割

- **あるべき学校像**：子どもの権利が大切にされ、児童生徒一人ひとりが存在感を実感できる安全安心な学校や、児童生徒が主体的に学校づくりに参画する魅力ある学校など、あるべき姿を示しています。
- **あるべき教員像**：向上心を持ち、子どもの学ぶ意欲と学力を高める学習指導ができる教員や、人権感覚にあふれ、子ども理解に基づいたあたたかい生徒指導ができる教員など、あるべき姿を示しています。
- **望まれる家庭の役割**：子どもが基本的生活習慣と規範意識を定着させることができる家庭や、愛情と信念を持って子どもの成長を見守り、子どもとともに成長する家庭など、望まれる姿を示しています。
- **望まれる地域・企業等の役割**：子どもが健全に成長するよう守り、はぐくむという観点から、積極的に教育活動に協力し、参画する地域・企業等など、望まれる姿を示しています。
- **教育委員会事務局の責務**：学校現場とともにいじめ等の課題解決に積極的に取り組む教育委員会事務局や、家庭や地域の取組みを支援する教育委員会事務局など、教育委員会事務局の責務を示しています。
- **共育（ともいく）**：それぞれが教育の主体としての責任を持つとともに、その力を学校教育活動に生かし、連携を深めることにより、社会に開かれた教育課程の実現を図ります。

(4)　福岡スタイル

計画期間の６年間で、すべての市立学校において特に重視する３つの教育の方法を示しています。各施策の推進を図るにあたり、共通して活用できる教育の方法として位置付けています。

①　９年間を見通した小中連携教育

小学校段階で複数教員による指導や習熟度別指導を充実させ、確かな学力の定着を図るとともに、小中の円滑な接続を図り、小中が連携して義務教育９年間を見通した教育活動を実施します。

②　子ども・家庭への支援

不登校やいじめなど、支援を必要とする子どもや家庭に、教育・心理・福祉の専門スタッフが連携して支援し、すべての子どもの未来をはぐくみます。

③　ＩＣＴを活用した教育活動の充実

子どもに情報技術を手段として活用できる力をはぐくみ、効果的な学習活動を行うため、全ての普通教室にＩＣＴ環境を整備し、日常的にＩＣＴの活用を図ります。

(5) 各施策

〔参考〕福岡スタイルと施策の体系図

	施　策	主な取組内容
子ども	1　確かな学力の向上	①一人ひとりの課題に応じた学力向上の取組み　②主体的・対話的で深い学びの実現　③日本語指導・支援の取組み
	2　豊かな人権感覚と道徳性の育成	①人権教育の推進　②道徳教育の推進　③豊かな体験活動の推進
	3　健やかな体の育成	①体力向上の推進　②食育の推進
	4　いじめ・不登校等の未然防止・早期対応	①いじめ防止に係る取組み　②不登校に係る取組み　③様々な課題を抱える子どもなどへの対応
	5　特別支援教育の推進	①児童生徒のニーズに応じた指導・支援の展開　②特別支援教育における教育環境の充実
	6　魅力ある高校教育の推進	①特色ある教育の推進　②進路実現を見据えたキャリア教育の推進　③社会の変化に対応する教育の推進
	7　グローバル社会を生きるキャリア教育の推進	①キャリア教育の推進　②グローバル人材の育成　③英語教育の推進
	8　読書活動の推進	①子どもと本をつなぐ取組み　②学校図書館の充実

福岡スタイル
特に重視する3つの教育の方法

1　9年間を見通した小中連携教育	2　子ども・家庭への支援	3　ＩＣＴを活用した教育活動の充実
小学校段階で複数教員による指導や習熟度別指導の充実	教育・心理・福祉の専門スタッフによる連携した支援	全ての普通教室にＩＣＴ環境を整備し，日常的に活用

学校・教員・教育委員会事務局	9　チーム学校による組織力の強化	①専門スタッフとの連携　②自律的な学校経営の推進
	10　学校と家庭・地域等の連携強化	①積極的な情報発信　②地域人材の活用推進
	11　資質ある優秀な人材の確保	①受験者数の確保に向けた取組み　②資質・能力を備えた教員の採用に向けた取組み
	12　教職員の資質・能力の向上・活性化	①資質・能力の向上・活性化を図る研修の充実　②研修・研究の支援・意欲向上の取組み　③メンタルヘルス対策
	13　コンプライアンスの推進	①不祥事防止にかかる取組み
	14　安心して学ぶことができる教育環境の整備	①老朽化対策にかかる取組み　②よりよい学習環境のための施設整備　③学校規模適正化にかかる取組み
	15　教員が子どもと向き合う環境づくり	①事務の効率化にかかる取組み　②専門スタッフによる支援
家庭・地域等	16　子どもの安全確保に向けた取組みの推進	①地域ぐるみの安全推進　②家庭における安全推進　③学校における安全推進
	17　家庭・地域等における教育の推進	①ＰＴＡと連携した取組み　②地域・企業等と連携した取組み

９　令和５年度教育予算

令和５年度の教育予算（一般会計当初予算）は 1,390 億 1,482 万円で、福岡市の一般会計 1 兆 497 億 5,600 万円に占める割合は、13.2%となり、保健福祉費（22.3%）及び経済観光文化費（19.9%）に次ぐ、３番目に高い割合となっています。

令和５年度の重要施策は次のとおりです。

(1) 福岡市教育振興基本計画の推進（814 千円）

学校、家庭、地域・企業等のそれぞれが教育の主体（担い手）としての責任を持ち、社会全体で子どもをはぐくむ「共育」を引き続き推進するとともに、福岡市が目指す子ども像の実現に向け、「第２次福岡市教育振興基本計画（令和元年６月策定）」の着実な推進を図ります。また、次期計画策定に向けた検討に着手します。

(2) 確かな学力の向上（2,831,361 千円）

児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するため、発達段階区分に応じた教育を推進するとともに、義務教育９年間の教育活動を見通した小中連携教育を推進します。

また、きめ細かな指導を実施するため、小・中学校全学年での 35 人以下学級に一部教科担任制や少人数指導を組み合わせた、教育実践体制を継続します。

なお、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るため、「ふれあい学び舎事業」を再開し、補充学習を再構築するとともに、授業時間中の学びをサポートする学習指導員の配置や、モデル校における学習動画を活用した授業を実施するなど、児童生徒一人ひとりに応じた指導の更なる充実を図ります。

さらに、全小学校の５、６年及び全中学校の児童生徒に対する英語、算数・数学の学習者用デジタル教科書の整備や AI ドリルを活用した補充学習を実施するとともに、データ駆動型教育への転換に向け、「教育データ連携基盤」の構築に着手します。

(3) 豊かな人権感覚と道徳性、健やかな体の育成（141,658 千円）

学校教育活動全体を通した人権教育や、考え、議論する道徳教育により、多様性を認め合い、人権を守ろうとする意識・態度をはぐくむとともに、学校の特色を活かした様々な体験活動を通して、豊かな心の育成を図ります。

また、運動習慣の基礎を培い、運動に親しむことを通して、体力向上の取組みを推進するとともに、授業の充実等を図るため、小学校の水泳授業において民間スイミングスクールを活用するモデル事業を実施します。

さらに、健全な食生活の基礎となる食育を推進し、生涯にわたって心身の健康を保持増進していく力の育成を図ります。

(4) いじめ・不登校等の未然防止・早期対応（943,294 千円）

いじめや不登校をはじめとする、子どもが抱える様々な課題にいち早く対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを全市立学校に配置します。また、全中学校に校内適応指導教室を設置するとともに、不登校対応専任の教育相談コーディネーターを配置し、教室に通うことができない生徒の居場所づくりに取り組みます。あわせて、教室や学校に通うことが難しい児童生徒が通う校外適応指導教室を設置し、幅広く学びの場の確保に取り組みます。

また、他の児童生徒やスクールカウンセラー等と交流するオンラインルームの開設など、ICT を活用した支援体制の強化を図るとともに、不登校児童生徒やその保護者等にアンケート調査を実施し、今後の不登校児童生徒に対する支援のあり方を検討します。

さらに、Q-U アンケートを小学校低学年へ拡大し、小・中学校全学年で実施するとともに学校ネットパトロール、SNS を活用した教育相談等により、いじめや不登校の兆候をいちはやく把握し、早期対応を行います。あわせて、「いじめを生まない都市ふくおか」を実現するため、児童生徒が主体的に取り組む「いじめゼロサミット」の開催や「いじめゼロ宣言」に基づく各学校での取組みを支援します。

(5) 特別支援教育の推進（1,022,339 千円）

一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うため、小・中学校の自閉症・情緒障がい等の特別支援学級や通級指導教室等の多様な学びの場を整備し、教育環境の充実を図るとともに、特別支援学校卒業生の就労率の向上を目指し、就労支援に特化した特別支援学校高等部を新設し、障がいのある生徒の将来の自立を促進します。

また、配慮を要する児童生徒に対して、担当教員と連携し学習活動や学校生活に必要な支援を行う学校生活支援員を配置するとともに、医療的ケアが必要な児童生徒を支援する学校看護師を配置し、校外学習を含め学校生活の充実を図ります。あわせて、特別支援学校において、医療的ケアが必要なことによりスクールバスに乗車が困難な児童生徒を対象とした通学支援を試行的に実施します。

さらに、肢体不自由のある児童生徒の安全性の向上を図るため、小・中学校にエレベーターを設置します。

(6) 魅力ある高校教育の推進（8,460 千円）

生徒一人ひとりの進路希望を実現するとともに、勤労観・職業観を育成するため、教員の指導力向上を図り、キャリア教育を推進します。

また、各学校の特色を活かし、さらなる魅力化に取り組むとともに、特に専門学科を有する高校については、社会経済の変化を踏まえ、今後のあり方を検討します。

(7) グローバル社会を生きるキャリア教育の推進
(3,641 千円)

子どもたちが将来に夢や希望を持ち、その実現に向けてチャレンジする意欲を育成するため、職業探究プログラムや未来を切り拓くワークショップの実施など、アントレプレナーシップ教育を推進します。

また、職場体験学習を実施し、勤労観や職業観を身に付け、社会的なルールやマナーを学ぶことを推進します。

(8) 読書活動の推進 (66,475 千円)

子どもが進んで学校図書館に足を運び学習に役立てるとともに、読書の楽しさを味わえるよう「読書・学習・情報」センターとしての機能を充実し、確かな学力の向上及び豊かな心の育成を図ります。

また、学校司書を効果的に配置し、学校図書館や授業の充実を図ります。

(9) 信頼される学校づくりの推進 (3,358 千円)

校長を中心とした組織的・協働的な学校経営を推進し、学校の組織力の強化に取り組むとともに、地域と連携し、開かれた、信頼される学校づくりを進めます。

(10) 信頼に応え得る教員の養成 (51,223 千円)

確かな力量と豊かな人間性を備え、使命感を持って子どもたちを導くことができる教員の確保と指導力の向上を進めます。さらに、１人１台端末を活用し、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すために、教職員の ICT 指導力向上を図ります。また、モデル校において、ICT を活用した授業の実践事例を創出し、全小・中・高等学校に展開することで、児童生徒の学びの質の向上を図ります。

さらに、メンタルヘルスマネジメントによる教員の心の健康づくりの取組みを推進します。

(11) 安心して学ぶことができる教育環境の整備
(16,412,775 千円)

安心して学習できる良好な教育環境の確保と維持を図るため、学校施設のアセットマネジメントを推進します。

また、「福岡市立小・中学校の学校規模適正化に関する実施方針」に基づき、小規模校や過大規模校の課題解決に向けた取組みや、アイランドシティ地区新設小学校、元岡地区新設中学校の整備を推進します。

さらに、学校給食センターについては、３か所の給食センターの維持管理・運営を適切に行い、衛生的な環境のもと、食物アレルギーへの対応や献立の充実を図り、安全・安心でおいしい給食を提供します。

(12) 教員が子どもと向き合う環境づくり (1,705,261 千円)

教員が子どもたちと向き合う時間を確保するため、学習指導員を新たに配置するとともに、スクール・サポート・スタッフや部活動指導員等の配置を拡充します。

また、校務の情報化による事務の効率化、学校で発生する諸問題の早期解決に向けた支援等を行い、教員の負担軽減を図ります。

(13) 子どもの安全確保に向けた取組みの推進
(6,732 千円)

子どもたちの登下校時の安全確保を図るため、小学校１年生及び市外からの転校生へ防犯ブザーを配付するとともに、スクールガードリーダーによる学校の巡回指導やスクールガード養成講習会を実施します。

また、通学路における安全点検結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、地域ぐるみで学校の安全を守る取組みを進めます。

(14) 家庭・地域等における教育の推進 (49,747 千円)

子どもたちが基本的な生活習慣や規範意識を身に付けるため、家庭教育に関する学習情報の提供、PTA や NPO と連携した講座・講演会等の実施など、地域全体で家庭教育を支援する取組みを推進します。

また、人権尊重のまちづくりに取り組む市民の主体的な活動への支援を通して、人権教育を推進します。

(15) 図書館事業の充実 (141,294 千円)

「福岡市総合図書館新ビジョン」の基本理念「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」を目指し、魅力ある図書館づくりを推進します。

また、利用者の電子端末で電子書籍を検索・予約・貸出できる電子図書館サービスを提供します。

さらに、総合図書館で収蔵しているアジア映画等を広く活用するため、公的施設等への貸与事業を推進します。

(16) 放課後等における居場所の充実 (5,034,586 千円)

放課後児童クラブ事業について、支援員の増員等を行うとともに、狭隘化施設について、計画的に施設の増改築を進めます。

また、放課後等に自由に安心して遊べる場として、わいわい広場の拡充に取り組みます。